

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2001-81074 (P2001-81074A)

【公開日】平成 13 年 3 月 27 日 (2001.3.27)

【出願番号】特願 平 11-256314

【国際特許分類】

**C 0 7 D 213/127 (2006.01)**

**B 0 1 J 31/28 (2006.01)**

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 213/127

B 0 1 J 31/28 X

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 8 日 (2006.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

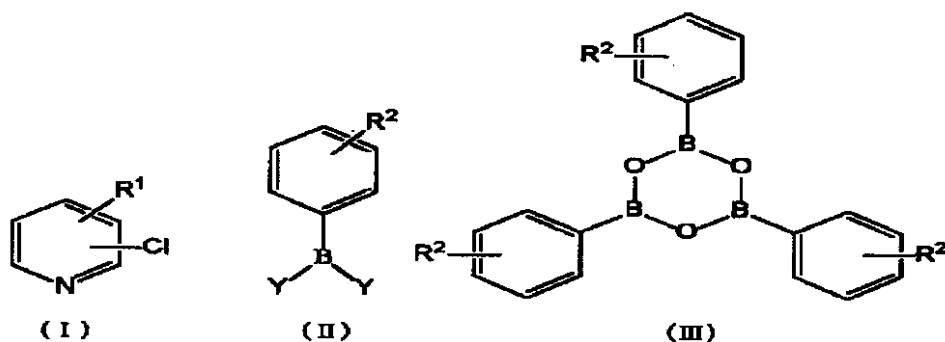
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

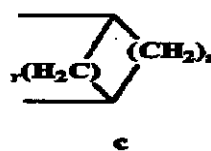
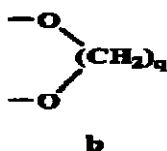
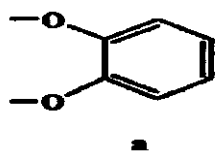
下記一般式 (I) で表されるクロロピリジン誘導体と、下記一般式 (II) で表されるアリールホウ素酸類、および / または、下記一般式 (III) で表されるアリールホウ素酸無水物を

【化 1】



(一般式 (I) 中の  $R^1$ 、及び一般式 (II)、(III) 中の  $R^2$  は水素原子、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を有してもよいフェニル基、炭素数 2 ~ 6 のアルケニル基、炭素数 2 ~ 6 のアルキニル基、炭素数 1 ~ 6 のアルコキシ基、炭素数 1 ~ 6 のアルキルチオ基、シアノ基、ホルミル基、炭素数 2 ~ 7 のアシル基、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を有してもよいベンゾイル基、炭素数 2 ~ 7 のアルコキシカルボニル基、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を有してもよいフェノキシカルボニル基、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を有してもよいアミノ基、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を有してもよいアミド基

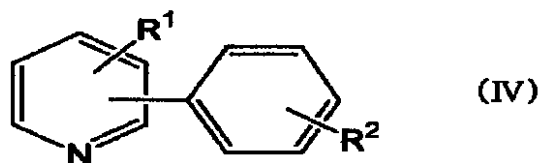
、ニトロ基、炭素数 1 ～ 6 のアルキル基または炭素数 1 ～ 6 のアルキル基を有してもよいフェニル基を有するスルホニル基、炭素数 1 ～ 6 のアルキル基または炭素数 1 ～ 6 のアルキル基を有してもよいフェニル基を有するスルホン酸エステル基、フッ素、或いは炭素数 1 ～ 6 のフルオロアルキル基を示し、Y は水酸基、炭素数 1 ～ 6 のアルコキシ基、炭素数 1 ～ 6 のアルキル基を有してもよいフェノキシ基、シクロヘキシルオキシ基、あるいは下記一般式 a、b、または c



( 各式中、q は 1、2、3 または 4 であり、そして r 及び s はそれぞれ、2、3、4 または 5 である。 ) で示される基を表す。 )

ジクロロ ( 1, 5 - シクロオクタジエン ) パラジウムとポリスチレンメチルジフェニルホスフィンから調製されるポリマー担持パラジウム触媒および塩基存在下、有機溶媒と水の混合溶媒中で反応させることを特徴とする下記一般式 (IV)

【化 3】



( 一般式 ( I V ) 中の  $R^1$  は、一般式 ( I ) の  $R^1$  と同じものを表す、  
一般式 ( I V ) 中の  $R^2$  は、一般式 ( I I )、( I I I ) の  $R^2$  と同じものを表す。 )

2

で表されるアリールピリジン誘導体の製造方法。